

# イブニングセミナー 3 (ES3)

日時：2026年4月9日(木) 17:10~18:10

会場：Room 10 会議室2 (マリンメッセ福岡B館)

4月9日(木)

## 次世代の眼科医育成： 大学病院の手術教育の革新と工夫

25th ANNIVERSARY

### 座長

西田 幸二 先生 (大阪大学)

1988年 大阪大学医学部 卒業  
1988年 大阪大学医学部附属病院 医員  
1989年 大阪厚生年金病院 医員  
1992年 京都府立医科大学 助手  
1998年 ソーク研究所 (米国、サンディエゴ) 研究員  
2000年 大阪大学大学院医学系研究科 助手  
2001年 大阪大学大学院医学系研究科 講師  
2004年 大阪大学大学院医学系研究科 助教授  
2006年 東北大学大学院医学系研究科 主任教授  
2010年 大阪大学大学院医学系研究科 主任教授  
2022年 大阪大学ヒューマン・メタバース疾患研究拠点 拠点長



### 演者1

次世代へつなぐ手術教育

～超音波乳化吸引装置の進化と  
長期透明性IOLが支える臨床カ～

坂口 裕和 先生 (広島大学)

1995年 大阪大学医学部卒業、同眼科 入局  
1996年 泉大津市立病院眼科 医員  
1997年 東大阪市立総合病院眼科 医員  
1999年 ケーブ 3rd 診療財団・JOL眼研究所 リサーチロー  
2005年 大阪大学医学部眼科 助手  
2013年 大阪大学医学部眼科 講師  
2014年 大阪大学大学院医学系研究科 先端デバイス医学寄附講座 准教授  
2021年 岐阜大学大学院医学系研究科 感覚運動医学講座 眼科学分野 教授  
2024年 広島大学大学院医系科学研究科 視覚病態学 教授



### 演者2

杏林アイセンターにおける

手術教育の革新と工夫

井上 真 先生 (杏林大学)

1989年 慶應義塾大学医学部眼科教室 入局  
1994年 杏林大学医学部眼科に国内留学 (Clinical fellow)  
1997年 米国デューク大学アイセンターに留学 (Research fellow)  
2003年 慶應義塾大学医学部眼科学 専任講師  
2007年 杏林大学医学部眼科学 准教授  
2014年 杏林大学医学部眼科学 教授



### 演者3

阪大アイセンターの手術教育：

次世代へつなぐ実践モデル

崎元 晋 先生 (大阪大学)

2003年 長崎大学医学部 卒業  
大阪大学医学部眼科 研修医  
2005年 国立大阪医療センター 眼科  
2008年 大阪大学医学系研究科博士課程  
2014年 米国スクリプス研究所リサーチアソシエイト  
2017年 大阪大学眼科 助教  
2023年 大阪大学眼科 共同研究講座 特任准教授  
2024年 大阪大学眼科 寄附講座准教授



現在、日本国内の一部地域では眼科勤務医数は不足傾向となっており、各大学病院では新入局員の確保に向けたさまざまな取り組みを進めております。また、働き方改革を背景に、効率的な教育システムの構築がますます求められています。眼科は外科系の分野であり、手術に関する教育も非常に重要です。習得には時間を要するため、白内障手術のように比較的早期に習得できる技術から、網膜硝子体手術のように長期間の訓練が必要な技術まで、各教育機関の方針や取り組みには差異があります。本セミナーでは、多くの医局員を育成する大学病院の手術教育に焦点を当て、最新の教育方法や工夫についてご紹介いただき、より良い手術教育の在り方について議論を深めていきたいと考えております。坂口裕和先生(広島大学)、井上真先生(杏林大学)、崎元晋先生(大阪大学)に、それぞれの大学における手術教育の取り組みについてご講演いただきます。